

議事録（要旨）

(1) 会議の名称	令和8年度 第1回越前市総合教育会議
(2) 開催日時	令和8年6月30日（火曜日）午前9時～9時55分
(3) 開催場所	越前市役所3階 大会議室
(4) 出席者氏名	市長 平林透 教育委員会 教育長 澤崎秀之、岡川聖代教育長職務代理者、伊東知之委員、坂多佳子委員、坂川雅宣委員
(5) 欠席者氏名	なし
(6) 出席所管課職員職氏名	総合政策部長 橋本尚子、総合政策部理事 白崎園子、経営戦略室長 見延直子、経営戦略室課長 橋本康央、総合政策部政策推進幹 橋本健史、経営戦略室副課長 川本和加子、教育委員会事務局長 黒田千華、教育振興課長 安久 智裕、学校教育課長 伊藤 文彦、教育委員会政策推進幹 間所千亜喜
(7) 会議議題	協議事項 越前市の教育環境について 報告事項 教職員の時間外在校等時間の状況について (越前市小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画に基づく報告)
(8) 傍聴者の数	1名
(9) 会議資料の名称	資料1 越前市の教育環境について 資料2 教職員の時間外在校等時間の状況について
(10) 会議の内容の要旨	1 開会 2 市長あいさつ 3 協議事項 越前市の教育環境について ・事務局から説明 ・意見交換(主な内容) 少子化対応は全国共通課題だが、地域ごとの実情を踏まえた柔軟な検討が必要である。小中一貫教育にも利点と課題があり、常に子どもの最善の利益を中心に教育環境を考えるべきである。 学校存続への思いは世代や立場により異なる。児童生徒数減少の実態共有が必要であり、高齢者や保護者など多様な意見の違いを調整し

ながら、地域全体で議論を進めることが重要である。

坂口地区では保護者と高齢者が世代を超えて地域の将来を議論できたことに意義があると評価。通学準備や保護者交流を進める中で、大人が真剣に子どもの未来を考える姿を伝えることも大切である。

4 報告事項

教職員の時間外在校等時間の状況について

(越前市小中学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画に基づく報告)

- ・事務局から報告
- ・意見交換(主な内容)

勤務時間の改善成果については、教職員の長時間勤務抑制のため、管理職が月途中から勤務状況を把握し、教職員へ声掛けや業務分担調整を実施するなどチームで支え合う体制によるものと評価された。

時間外勤務の削減だけでなく、「働きがい」の向上が重要である。子どもの成長を実感できる教職の魅力を守り、離職防止や将来の教員確保につながる環境づくりが必要である。

5 閉会